

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 28 年度第 5 号 2 月 24 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinshinotsukoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/>

ネットトラブルに要注意

教頭 佐々木 博充

例年になく雪が少なく、穏やかな日が続いた今年の冬ですが、一年の締めくくりの時期となりました。三年生は一日一日をかみしめて、最後の学校生活を送っているところです。このまま卒業式の晴れ舞台に臨んでほしいものです。

さて、生徒たちの間でも、携帯（スマホ）のある生活が当たり前になっていますが、学校の内外で急速に携帯電話やスマートフォンにまつわるトラブルが増えています。携帯の使い方を一歩間違えると、大変危険な状況が待っていることは皆さん御存知のことです。学校でも専門家を招いて研修会を実施していますが、この問題は、学校だけでなく家庭の指導や協力が不可欠です。お子さんの携帯のチェックや御家庭でのルール作りなど考えていただければと思います。その際の注意点なるものを考えてみました。

○秘密のつもりでも公開されるのがインターネット

メールやラインのグループなど特定の人だけのやりとりなら秘密は守られると思いがちですが、当事者の誰かがそのデータを流出させると、一瞬にしてそのデータは「公開」してしまいます。ネット上のデータは「公開」されるものという認識を持たなければなりません。

○コミュニティサイトの怖さ

SNS や掲示板などの「コミュニティサイト」は、他人と交流することを目的に作られています。出会い系サイトのように「友達を増やせるかもしれない」という期待から、安易に個人情報を公開すると、大切なデータを悪用されることがあったり、犯罪に巻き込まれることになりかねません。

紙面の関係でほんの少ししか取り上げられませんでした。子供たちのインターネット利用に関わる相談などがありましたら、下記 URL を活用することをお勧めします。



「北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト」

<http://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/>

「エイゴでピンゴ！」～ALTとの交流～



11月に2学年の総合的な学習の時間でALT交流会が行われました。今回はアイルランド出身のフィンバー・リンチ先生が来校し、午前中に生活科、午後には4科で交流会を実施しました。フィンバー先生は、映像作家としてアイルランドで活躍されているようで、生徒たちはそうした職業や、やや早口の英語に初め「???'となっていました。

しかし、趣味の説明のところでサッカー観戦やアコーディオン演奏との紹介があると、急に身近になって「うんうん」とうなずいたり、アコーディオンの写真に見入ったりしていました。

質問タイムでは、クラスごとに考えた質問に、丁寧に答えていただきました。続いてのピンゴゲームでは、フィンバー先生が読み上げる単語に一喜一憂の生徒たちとフィンバー先生。こうした楽しみは万国共通なのだと思います。最後の記念撮影では、フィンバー先生を真ん中にクラスごとにまとまって撮影し、別れを惜しみながら交流会を終えました。

(文責 松本 研司)



冬のしんしのつ会



年が明けて1月14日(土)ホテルライフオーソ札幌にて冬のしんしのつ会・同窓会総会が行われました。卒業生の参加者は141名、年々、卒業生が増えるとともに参加者が増えています。今回同窓会名簿を確認すると897名となっており、近々卒業生も1000人に達するまでになりました。人数が増えるとともに正直準備も大変になってきているのも確かですが、やはり当日卒業生を迎え、同窓生同士が語らい、歌い、懐かしい先生

方々に近況を報告する姿を見ると、この会の大切さをしみじみと感じます。スーツに身を包み、おしゃれしてくる人、ほんのり薄化粧をしてくる人、一般就労が決まると嬉しそうに報告する人、私たち教職員もこうして集まってくれる卒業生に支えられていると感じる一日でした。

「来週から仕事がんばりましょう」とみなさんに言いつつ、自分もがんばろうと心して、冬のしんしのつ会を閉じました。

(文責 山田 勇気)

校外スキー学習の様子

1月24日の3年生を皮切りに、予定通り各学年1回ずつ校外スキー学習を行いました。今年度は季節外れの雨や-20度近くの寒さなど自然の厳しさを感じながらの授業になりましたが、どの学年もけがや事故もなく無事に終了することができました。今年初めてスキーを始めた生徒は道具に慣れるところから、大会に出場している生徒はより速く、美しく滑ることができるよう、それぞれの力に合わせた練習内容で活動しました。昼食タイムには、カレーやラーメン、ポテトセットなどそれぞれ好きなメニューを選び、普段とは違う環境の中、仲間や教師との会話を思う存分楽しんでいました。屋内にこもりがちな季節ですが、より多くの生徒に、学校の授業以外にも冬の余暇活動として楽しんでもらえたらと思っています。保護者の方々には、準備などご協力いただき感謝しております。ありがとうございました。

(文責 和佐 えりか)



部活動紹介～サッカー部編 「結果よりも大切なもの」



第15回チャレンジドサッカー大会(11人制)準優勝、8人制フレンドリーの部優勝、第16回チャレンジドフットサル大会準優勝。今年度、生徒の頑張りが実を結び、大会では好成績を残すことができました。トーナメント戦ではPK戦の勝利も多く、運も味方をしてくれた結果だと感じます。成績を残すことも大切ですが、私

はそれ以上にここまでの過程(道のり)が大切だと思います。普段の学校生活で学んだこと、毎回の練習で顧問の先生方から学んだこと、強化練習で顧問以外の先生方が練習相手になってくれたこと、大会当日保護者の方が送迎をして支えてくれたこと、その全てがつながり、今年度の結果として表れたのです。これからも周りへの「感謝の気持ち」を忘れないで練習に取り組んでほしいと思います。

(文責 松山 佳樹)



冬休み作品展

今回の冬休み作品展には、工作や絵画、書道、自由研究など総数 69 点もの作品が出品されました。厳正なる審査の結果、2 年生活技術科の近藤真由さんの作品「北海道地図」が最優秀賞に選ばれました。カラフルな色合いで細かいところまでとても丁寧に塗られている素敵な作品でした。惜しくも入賞を逃したものの、その他の作品も一人一人の個性が光る素晴らしい作品ばかりでした。次回の夏休み作品展もたくさんの応募をお待ちしています！

(文責 佐藤 沙也加)



最優秀賞 『北海道地図』

生活技術科 2 年:近藤 真由さん

今後の予定

同窓会入会式	2月28日(火)
卒業生を送る会	3月2日(木)
第22回卒業証書授与式	3月4日(土)
振替休業日	3月6日(月)
修了式・離任式	3月24日(金)



編集後記

毎年大雪を覚悟する新篠津の冬ですが、今年は様子が大きく違いました。例年なら一面雪景色が続くこの時期に道路が顔を出し、スキー学習で利用するグラウンドの雪山は物足りない高さになっていました。通勤・通学、送迎のことを考えると穏やかな天気はありがたいものですが、環境の変化に少し不安も覚えてしまいます。気温に関してはマイナス10度を下回る日もあれば春のように暖かい日もあり、変化の激しさに体調を崩す生徒もいましたが、昨年のように臨時休校になることもなく、インフルエンザの方も収束してきています。卒業生の登校日もあと数日、このまま気を抜くことなく一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

